

芸閣

～図書館だより～

第5号
2018年9月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)



秋の七草

“秋の七草”って知っていますか。

広辞苑には、

「秋の野に咲く代表的な七種の草で、

萩（はぎ）

薄（すすき）

葛（くず）・

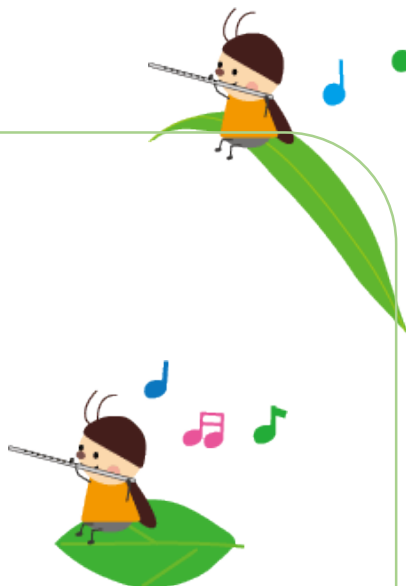
撫子（なでしこ）

女郎花（おみなえし）

藤袴（ふじばかま）

桔梗（ききょう）の称。」

と載っています。どんな草なのかな～と思った人、図書館で図鑑や事典をひっぱりだして調べてみてください。



8/22(水)

文学散歩 報告

私たち図書局は文学散歩として京都府にある国立国会図書館関西館へ行ってきました。本来、国立国会図書館は18歳以上の人しか利用できないのですが、今回18歳未満でも参加できる見学ツアーで図書館に入ることができてうれしかったです。主に書庫を見学しました。書庫は、室温と湿度が一定に保たれていて、入ると少しひんやり、しっとりとして過ごしやすいと感じました。また、室温、湿度の他にも、書庫に入る際の靴力バー、紫外線をできるだけ防ぐ証明や窓の設計など、本を守るための工夫がたくさん施されていました。18歳になったら、利用者カードを作って国立国会図書館を利用しようと思いました。

2年 西川

国立国会図書館関西館に行った第一の感想は「未来を感じました」です。1400万点以上という蔵書数もさることながら、最新式の設置機器やシステム化された書籍の管理体制、館の建築のデザインは圧巻でした。どれをとっても私が知っている図書館を上回っていました。

国立国会図書館は閉架式といって、一般の人は書庫に入ることができませんが、今回は見学をさせていただくことができました。地下にある書庫に入ると、ひんやりとした空気が真っ暗な空間に満ちています。本を状態よく保存しておくための工夫です。本棚には様々な本が並べられていますが、ジャンルごとではなく、本の大きさなどで区別しているようです。これは関西館特有の管理方法で、限りある収蔵能力を最大限に活用するためだそうです。さらに地下深い階へ行くと、人間の指示で蔵書を取ってくるロボットもありました。これにはたまげました。想像上のものが現実に存在したのか、という驚きです。そんなふうで、本の収蔵に特化した関西館ですが、開館から16年という時が経ち、蔵書数は収蔵能力の80パーセントに達したそうです。今後、書庫専用の新棟が2棟建つ予定のようですが、関西館は一体どこまで進化してしまうのでしょうか。

2年 田邊

7月18日、図書館で行われたビブリオバトルに参加しました。僕は聴衆として参加したのですが、バトル（発表者）は皆、好きな本の魅力を伝えるということに情熱を注いでいました。本のジャンルはさまざまでしたが、今回は生き方について考える良い機会を与えてくれる小説が多かったように思います。小説の話の面白さだけでなく、登場人物のセリフを一部読み上げることで、その本から見出される大切なことが伝わってきて本が読みたくなりました。本から良い影響を受けることは人生にとって有意義です。みなさんもぜひビブリオバトルに参加して良い本と出会ってください。

3年 岡室

7/18(水)

図書館講座

～ビブリオバトル大会～

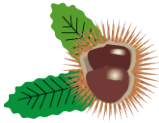
図書館講座でビブリオバトル大会をしました。今回、紹介された本は有名なものから絶版になっているものまであり、ジャンルも様々でした。その本との出会い、魅力や愛を語る5分間。興味をかきたてられる発表ばかりで、どれに投票しようかととても悩みました。

チャンプ本は『わたしを離さないで』（カズオ・イシグロ著）でした。

3年 澤田



新着図書を紹介

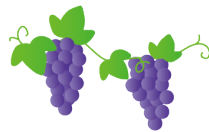


小説

- 『のののはな通信』 三浦しをん 著 KADOKAWA
『ユートピア』 湊かなえ 著 集英社
『カイルの森』 銀色夏生 著 角川書店
『オネスティ』 石田衣良 著 集英社
『悪夢のエレベーター』 木下半太 著 幻冬舎
『幽霊人命救助隊』 高野和明 著 文藝春秋
『ナニワモンスター』 海堂尊 著 新潮社
『室町繚乱』 阿部暁子 著 集英社
『レッドスワンの絶命』 綾崎隼 著 KADOKAWA
『オネスティ』 石田衣良 著 集英社
『雲と鉛筆』 吉田篤弘 著 筑摩書房
『100年の木の下で』 杉本りえ 著 ポプラ社

なるにはBOOKS

- 『獣医師になるには』
『グランドスタッフになるには』
『バイオ技術者・研究者になるには』
『臨床検査技師になるには』
『視能訓練士になるには』



社会科学

桐蔭高校が載ってるよ

- 『名門高校100』 猪熊建夫 著 河出書房新社
『男女平等はどこまで進んだか』 山下泰子 著 岩波書店
『おばあちゃんがぼけた』 村瀬孝生 著 新曜社
『雪ぐ人～えん罪弁護士今村核』 佐々木健一 著 NHK出版
『台湾の若者を知りたい』 水野俊平 著 岩波書店
『ニッポンの肉食』 田中康弘 著 筑摩書房
『不登校でも大丈夫』 末富晶 著 岩波書店
『新しい時代のお金の教科書』 山口揚平 著 筑摩書房
『10年後の仕事図鑑』 堀江貴文ほか 著 SBクリエイティブ
『本質をつかむ聞く力』 松原耕二 著 筑摩書房

その他

- 『ありがとうの魔法』 小林正観 著 ダイアモンド社
『東大王・伊沢拓司の最強クイズ100』 伊沢拓司 著 KADOKAWA